



祖業の造船事業（現新来島サノヤス造船）を2021年2月末で譲渡し、産業機械メーカーなどの事業会社が中核の体制になったサノヤスホールディングス（HD）。グループ全体の意思統一が必要になるのは健康経営の面も同じだ。新体制発足の21年3月1日に就任した北達伊佐雄社長は、「従業員の満足度を充実させなければならぬ」と強調する。

造船事業譲渡前の19年、定年を65歳に引き上げたのは技能伝承を

## サノヤスHD



産業医による健康診断をテーマにした社内講演会（サノヤスHD提供）

志)

（編集委員・林武

# 「快適な職場」で健康維持

踏まえた措置。一方で、どこにも北達社長は入る。21年9月に定年延長は「健康状態」「健康経営に取り組んは産業医による「健康の維持が条件」（北達 ているかで差が出る」診断結果の見方と最適な対処法」と題し、グループ全社の役員を対象に社内講演会も開いた。北達社長は「健康を感じることが少 従業員向けメッセージを指し、継続的な職 機会を増やす考えだ。」

環境改善に努める 6月からはサノヤス「健康宣言」も打ち出 精密工業（兵庫県三田 断受診率100%や生 所を撤廃し、完全禁煙 活習慣病の予防、労働 に踏み切る。サノヤス 時間の適正化などをテ 精密以外でも4月から 月に掲げる。

今後、ESG（環境 入し、将来的には全社 ミューティングによるコ ミュニケーションが欠 かせない」（同）と孤 独感を生まない職場環 境構築を意識する。

傘下の各社で事業内 容が多岐にわたるの は、「出向も含めて、 各社間で持ち場を変え て得意分野を見いだせ ることができる」と北 達社長が説明する。グ ループ経営の利点を生か す。健康維持とともに 適材適所の配置を探る 柔軟な体制で従業員を 支える。